

暮老連ニュース

オ22号

暮老連の目的

ボケ防止のために、老人園同好者の誰もが“暮を楽しむ”ことが出来よう。機会と場所を確保するために相談会し、園長を通じて親睦を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢献することを念頭にす。

発行日 平成3年11月11日
発行所 八王子暮を楽しむ老人連
テレホン 193 八王子市朝霞町1438-6
TEL (0426) 66-3754
発行人 熊崎正一

平成3年団体対抗戦の総括について (2月～10月)

1. 団体成績表

4-6名	対戦	糸川	中野	大和田	由木	元王子	長房	子安	由井	合計	順位
糸川	勝敗									3	
	勝数	7	10	12	6	10	5	6	56	7	
	負数	11	8	6	12	8	13	12	70		
中野	勝敗	1			0.5		0.5		1	3	
	勝数	11		5	9	7	9	8	11	60	6
	負数	7		13	9	11	9	10	7	66	
大和田	勝敗		1				1	1	0.5	3.5	
	勝数	8	13		4	13	13	9	7	67	4
	負数	10	5		14	5	5	9	11	59	
由木	勝敗	0.5	1				1	1		3.5	
	勝数	6	9	14		5	14	10	8	66	5
	負数	12	9	4		13	4	8	10	60	
元王子	勝敗	1	1		1			0.5	1	4.5	
	勝数	12	11	5	13		6	9	10	66	2
	負数	6	7	13	5		12	9	8	60	
長房	勝敗	0.5				1				1.5	
	勝数	8	9	5	4	12		5	8	51	8
	負数	10	9	13	14	6		13	10	75	
子安	勝敗	1	1	0.5		0.5	1			1	5
	勝数	13	10	9	8	9	13		10	72	
	負数	5	8	9	10	9	5		8	54	
由井	勝敗	1		1	1		1			4	
	勝数	12	7	11	10	8	10	8		66	3
	負数	6	11	7	8	10	8	10		60	
参加人員	19	13	16	16	20	8	13	13	118		

(1)

2. 個人成績表

射撃戦に2回以上の参加者

同好会別	姓	氏	名	勝数	負数	同好会別	姓	氏	名	勝数	負数
城川	6	市	川日星	8	7	由木	2	城	定城	9	9
"	5	保	屋正清	5	7	"	川	和吉	郎	3	3
"	4	辰	谷川足	6	6	"	初	嶋	根昭	4	2
"	4	城	大次郎	4	8	"	佐	久木俊	節	4	2
"	5	小	林晃	3	3	"	高	菜正敏	1	5	
"	3	明	石敏春	2	4	"	井	上二郎		4	2
"	"	中	寺健	1	5	元平子	6	河	井尹尚	7	2
"	2	大	河原幹	7	2	"	山	下則文		1	5
"	"	橋	端政明	3	6	"	5	延	平和允	12.5	8.5
"	"	銀	村章	4	5	"	4	高	橋実	10.5	7.5
"	初	丹	成史	2	4	"	3	稻	葉利夫	4	2
中野	5	木	鳥洋治	3	3	"	2	藤	原博	4	2
"	"	佐	藤真人	2	4	"	2	高	橋重二	8	7
"	父	岡	田宗明	7	5	"	"	片	園正雄	4	2
"	"	岡	野省三	7	8	"	初	清	水一節	3	3
"	3	山	下宏	5	1	辰彦	6	小	西微	8	13
"	"	山	内敬夫	11	7	"	5	小	川重	9	12
"	2	藤	本羊助	5	10	"	3	石	井正之	5	7
"	"	牧	益豊	1	11	"	2	松	井豊	6	6
"	初	大	木木茂	11	7	"	4	芦	谷富美男	8	13
"	"	石	山徳義	7	2	"	"	山	崎修	6	9
大和田	5	西	田稔男	10	2	"	草	初安	田笑	8	13
"	"	藤	井忠明	5	1	子安	6	櫻	木繁吉	12	6
"	"	兔	谷革治	5	7	"	5	横	山勝利	7	8
"	4	佐	藤深次	5	4	"	4	早	川泰	16	2
"	3	豊	田弘伯	7	5	"	3	田	中里志	6	3
"	"	八	木義光	4	5	"	2	中	村哲雄	7	2
"	"	遠	藤成章	2	4	"	"	和	田平一	10	11
"	"	繩	生孝男	1	5	"	初	金	田政治	6	12
"	2	芦	野敬充	11	4	申井	6	藤	井稔	8	6
"	"	小	川光之	5	1	"	5	花	井進	5	10
"	"	安	藤久雄	5	1	"	3	銀	山和美	5	1
"	"	宮	崎謙	2	4	"	"	萬	野進	5	7
"	初	中	島雅雄	4	5	"	"	正	木正友	8	13
"	"	島	山勲	1	5	"	2	福	田篤	14	1
由木	7	寺	木福寿	8	4	"	"	安	谷座一	7	5
"	"	石	田五男	3.5	5.5	"	"	片	園健一郎	5	1
"	5	鎌	木民平	5	1	"	"	赤	把礼	7	5
"	"	吉	成進	7.5	10.5	"	"	猿	原清也	9	3
"	4	神	保大次郎	9	3	"	初	小	山恒雄	2	4
"	"	朝	日昇	2	4						
"	"	斎	藤衡	3	3	合計		82名			

(2)

開基部やサークルの案内欄新設について

八王子年内の各町会や団地等で御活動されている開基部やサークルの状況報告を、基老連ニュースに掲載することになりましたので、会員各位におかれましては、次の要領により御報告して下さいまおう御願い申しあげます。
但し、掲載については、紙面の都合上、当方にて適宜選択させて頂きネオので、予め御了承下さい。
尚、会員の中で60才以上の方については、"ボケ防止のため"啓発開基大会にハガキにより御案内申し上げる予定であります。

記

1. 開基部又は開基サークルの名稱
2. 創設年月日
3. 現在の会員明細（姓名、級位、生年月日、住所、電話）
4. 会長又は世論人や指導者の氏名
5. 会の例会日
6. 会費
7. 年間行事（競技会、其他）

以上

基老連研修会の打ち合わせ会

日 時	平成3年9月28日午後1時
場 所	総合福祉センター4階和室
出席者	研修部長 横田博信 研修部員 安藤久雄、松井豊、丹成史、高瀬京一 研修委員 平山智之、城定武、金田政治 基老連 熊崎正一

議案

1. 基老連研修会実施要領の制定（次回に掲載）

2. 研修部員業務分担

(1) 有職者関係 安藤久雄、松井豊
(2) 級位者関係 丹成史、高瀬京一

3. 研修会の実施目標の設定

(1) 技術の向上

(2) 射局マナーの修得

1. 射局相手が打ち終り、5秒以上経過してから基石を握る。

2. 基石の中を手先で基石を弄さない。

3. 打ち直しは禁止する。

4. 二回も打ちは慎んで"真人"。

5. 射局中は、相手の打ち番に射方の批判を行わないと同時に自分の打ち番に因ての反対も声に出さない。

6. 但し、指導基準この限りにあらず。

射局中は、お互いに基を築いて"復くための心要なマナーと心得"研修会と射方の御希望や御批判は歓迎致しますので、遠慮なく御提出下さい。

以上

(3)

基老連研修会の実施要領

1. 期 間 平成3年10月より平成4年3月までの6ヶ月間
2. 日 時 毎月土曜日(オ1~オ4)午後1時より午後4時まで。
但し、祭日の場合は休日とする。
3. 会 場 総合福祉センター(東浅川町551-1, 電67-1331)
4. 研修員 有効者42名(定員40名), 級位者38名(定員40名)
5. 会 費 月額￥200
6. 研修部構成
 - 研修部長 横田博信(基老連副会長)
 - " 部員 松井豊, 安藤久雄, 丹成史, 高瀬京一
 - " 委員 高野信(由井), 平山智之(長房), 舟村章(浅川), 牧嘉賀(中野),
城定武(北野), 金田政治(子安), 佐々木俊郎(由木)

7. 研修部の担当業務

- (1). 研修部長
 1. 研修会の統括責任者
 2. 現金出納帳の管理
- (2). 研修部員
 1. 総合福祉センターへの施設利用申請(毎月1回)
 2. 研修業務の常性担当者
 - (1). 有効者記録帳(会員名簿, 対局成績表, 会費入金控)の管理
 - (2). 級位者記録帳(全上)の管理
 - (3). 名札(役員用, 有効者用, 級位者用), 対局票, パック茶, 文房具等の管理
- (3). 研修委員
 1. 所属する寿園基同好会との連絡業務
 2. 研修会場の開会準備及び, 閉会整備等の管理

8. 運営方針

- (1). 指導基について
 1. 基老連技術顧問の方々に交替で指導して頂く。
 2. 指導基の希望者は, 備付けの「指導基控」に姓名を記入して下さい。
- (2). 対局について
 1. 研修員は, 自分の上位者と下位者を含めた3階級内の対局を原則とする。

但し, 4段以上と, 6段以下は参加者が少ないので自由対局とする。
 2. 同一人との対局は, あるべく一日2回以内とする。
 3. 対局者は, 対局票に必ず勝敗を記入して下さい。
- (3). 対局成績の発表について
 1. 平成4年3月28日(オ4土曜日)に6ヶ月間の総合成績を発表します。
 2. 競技会開催や表彰關係等については, 後日御相談申上ります。

追記 研修員に欠員が生じた場合は隨時補充する 以 上

(4)

团体対抗戦成績表(7回戦10月27日)

浅川4-1-ム(勝負3)

予定		6	5	4	3	2	初	勝計						
予定	浅川	榎本	6	横山	5	指田	4	田中	3	紅田	2	金田	初	
6	岸川	6	X	0	X									1
5	長谷川	5	X	X	X									0
4	藤田	4	X	X	0									1
3	明智	3				0	X	X						1
2	橋場	2				X	X	X						0
初	大河原	2				X	0	0						2
勝計		3	2	2	2	2	2	2						13

元八4-1-ム(勝負4.5)

中野4-1-ム(勝負3)

中野		6	5	4	3	2	初	勝計						
予定	元八	岡野	X	中田	4	山内	3	牧	2	石山	初	大谷	初	
6	河井	6	0	X	0									2
5	辻平	5	X	0	X									1
4	佐原	4	X	0	X									1
3	藤原	3				0	X	0						2
2	片桐	2				0	0	0						3
初	猪木	初				0	X	0						2
勝計		2	1	2	0	2	0							7

由井4-1-ム(勝負4)

由木4-1-ム(勝負3.5)

由木		6	5	4	3	2	初	勝計								
予定	由井	寺本	7	吉成	5	神保	4	木村	3	穂積	3	城定	3	井上	初	
6	花井	5	0	0	X											2
5	高野	4	X	0	X											1
4	奥山	3	0	0	0											2
3	正木	3				0	X	0								2
2	赤池	2				X	0	X								1
初	吉川	初				X	0	X								1
勝計		1	0	2	2	1	2									10

長井4-1-ム(勝負1.5)

大和田4-1-ム(勝負3.5)

大和田		6	5	4	3	2	初	勝計							
予定	長井	庵谷	5	高田	5	佐藤	4	豊田	3	小川	2	島山	初		
6	小西	6	0	X	X	X									1
5	小川	5	X	X	0										1
4	ヰケン	X	X	X	X										0
3	石井	3				0	X	0							2
2	松井	2				X	X	0							1
初	ヰケン					X	X	X							
勝計		2	3	2	2	3	1								13

(5)

(基老連-2-1-22号 平成3年1月1日登記)

“ボケ防止と用基”的記事転載御報告

本件は、週刊「囲碁新聞」に昨年9月18日より20回の予定で掲載され
いたものです。日本棋院の御厚意により碁老連ニュースに転載することを
認証されましたので、オ12号より2回分完掲載し本号を以て完結致しました。
囲碁爱好者にとっては貴重な文献であり、時期期待に添えたものと存じます。

園基は、「一生懸命考える」、「指先を常時動かす」、「競技特有のアイト等が、「ボケ防止に効果最高」と評価されている所似ではないでしょうか。

ボケ防止

前向きな姿勢で棋力アップ
一年をじっとしたものか
は、ものだらけられてくる
方は意外多いのです。けれども、人間の脳の働きは、年々
少しあり方で、一方的に成長するのではなくて、
少しありがたうねる形で、年々進化していくので、
あらまぜんむじで、逆に
そうした悪戦苦闘された方が
「脳の老い」を防ぐことができる
と考えています。東大医学部で
老年病学の研究をされてきた
元筋膜療法院、「筋膜は老いて
しないでも発展性のある」人
間の脳の異常的な可能性を強調されています。
何歳であっても、筋膜を活性化
させると、もうだめだ、と思えて
は、脳の働きを止まつてしま
います。

この高齢であらまぜんむじをす
す筋力が向上され、いわゆる「
を、この裡で、何人かが経験して
いたりました。」などといふこと
が、そのためだなどといふ個
気な方は、もちろん一人いら
うつしません。強くない
れる方に共通しているとい
は、弱めの筋膜を活性化す
る石倉先生は、「オーマニアの方
はおちさん、プロ棋士などとい
ても、前向き。姿勢は上達
につながる大切な要素」だと
おっしゃり、さらに、「次のよ

（構成・高見亮子）

これまでお話をうながしたり、しましたように、人間の脳は、年齢とともに、老化していくだけではありません。確実に計算力や記憶力は、年を重ねるにつれて若手分野になつてきてしまうのです。けれども、総合力、判断力、力は年を重ねるにつれて衰えていくのです。また、感覚的、感情的な分野は、年齢に関係なく、鍛えれば鍛えるほどに発達するといわれています。人の脳は、70歳、80歳を過ぎても、百歳を超えて、老いながらも、今まで持った脳に生まれ変わらなければなりません。そして、新しく生まれ変わった脳は、70歳、80歳を過ぎても、百歳を超えて、老いながらも、今まで持った脳に生まれ変わらなければなりません。つまり、若いいいじみで育った脳が、年を重ねるにつれて、最終的に老朽化するのです。これが、人間の脳が老化していく原因です。

(6)